

競技注意事項

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規程、競技用靴に関する規程ならびに本大会の申し合わせ事項によって行う。

1. 開門時刻 5月3日 7時00分 5月4日 7時00分

2. 練習について

練習はプログラム記載の指定された会場で、日程に従い実施すること。(別表参照)

3. 招集について

(1) 招集所は、100m スタート付近の雨天走路に設ける。

(2) 招集開始および完了時刻は右記のとおり。

(3) 選手は、当該種目の招集時刻が来たら、選手招集所に用意された出場選手一覧表に、第一回目のチェック(自分の番号を○で囲む)を招集完了時刻 5 分前までに行う。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
跳 躍	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒 高 跳	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
投 て き	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(4) 第 1 回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻 5 分前に招集所の席で待機し、係員による最終点呼を受ける。その際競技役員にアスリートビブスの番号と、スパイクを見せ、確認を受けた後、競技役員の誘導で競技場に入る。2 種目以上(例えばトラック競技とフィールド競技)を同時刻に兼ねて出場する選手はあらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集完了時刻前に申し出なければならない。

(5) 招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

(6) 選手の棄権については、大会の権威と運営の円滑を期すため極力避けること。

(7) 申込書類受付後の変更は認めない。

4. 競技場への入退場について

(1) 競技役員の指示に従って整然と行う。

(2) 競技を行う選手以外は、トラック・フィールドに立ち入ってはならない。注意に従わない場合は当該選手の競技を認めない場合がある。

5. 競技について

(1) セパレートレーンにおいては、決勝線通過後、自分のレーン(曲走路)を走り他走者の妨害をしないこと。

(2) 競技区域内への通信機器の持ち込みは一切禁止する。フィールド競技に限り、コーチ等からの録画再生機器を手渡しすることによる競技映像の確認は認められる。

(3) スパイクシューズのピンは 11 本以内とし、長さは 9 mm 以下とする。但し、走高跳とやり投は 12 mm 以下とする。

(4) サークルで行われる投てき種目を除き、靴底の厚さは最大 20 mm とする(なお、競歩種目は最大 40 mm とする)。

(5) タイムレース決勝は、公認記録の低い順に組を作成する。

(6) 次のラウンドに出場するプラス・アルファについては、その競技終了後、記録・情報処理員が番組編成の上、直ちにアナウンサーを通して発表する。但し、同タイムの場合は 1000 分の 1 秒の実時間を考慮し判定する。レーンが不足するときは、決勝に出場する選手は抽選で決定する。

(7) トラック競技の準決勝以後と、フィールド競技の決勝については主催者側で公平に組み合わせの上抽選し、走路順、試技順は競技場玄関左側の掲示板に提示する。

(8) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載のナンバーの左 1・2・3……の数字で示す。

(9) アスリートビブスを着用する時は、切ったり、曲げたり、また、いかなる方法でも隠してはならない。

(10) スターターの合図は英語とし、不正スタート 1 回で失格とする。

6. バーの上げ方について

走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。()は練習の高さ。

走高跳	男子 (1m70) -1m75-1m80-1m85-1m90-1m95 女子 (1m35) -1m40-1m45-1m50-1m55 男女共以後 3cm ずつ上げる。
棒高跳	男子 (3m20) -3m40-3m60-3m80-3m90 女子 (1m80) -1m90-2m00-2m10-2m20 男女共以後 10cm ずつ上げる。

天候その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は審判長が決める。

第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は 2cm、棒高跳は 5cm とする。

7. 用器具について

用器具は主催者の用意したものをを使用すること。ただし、やりは競技開始 60～70 分前の 10 分間に第

1 ゲート付近の器具庫(100m ゴール付近)において検査を受け合格したものに限り使用することができる。(投てき用具は全競技者が使用できるものとする)

8. 表彰について

(1) 表彰は決勝終了直後実施する。多種目出場で表彰に出られない場合は必ず代理を出すこと。

(2) 各種目 3 位までの入賞者に賞状を授与する。優勝者には選手権賞を授与する。(オープン種目除く)

9. 諸届出について

(1) 抗議申立書は総務に提出すること。(TR 8 を参照)

(2) リレーメンバー・オーダーは招集完了時刻の 1 時間前に所定の用紙に記入の上競技者係に 2 部提出する。決勝においてもメンバーの変更の有無にかかわらず前記のとおり提出すること。用紙は招集所に用意しておく。

◇リレーチームの編成メンバーは、一度予選に出場した後でもそのメンバーを 2 名以内に限りほかの競技者と交代することが出来る。また、走者順を変えることもできる。

ただし、交代する競技者は、あらかじめリレー種目、またはそれ以外の種目に申し込んでいる競技者に限る。(詳細は TR 24.10 参照)

10. 県外登録者の参加制限について

島根県の代表を選考または決定する大会であるため、県外登録者についてはトラック種目は予選のみ、高さを競う競技以外のフィールド種目は 3 回の試技のみとする。

11. その他

(1) 発病、負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。医務室は本部席に置く。

(2) 競技区域内に、携帯電話等の通信機器を持ち込むことはできない。また、衣類や所有物については「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。

(3) 貴重品の管理は各自で行うこと。紛失の責任を負わない。

(4) 選手、監督共に競技人としてのマナーを自覚しよう。

(5) 本大会で 8 位以内・競歩競技 3 位以内の入賞者および標準記録を突破し、本大会の推薦を受けたものは、中国選手権大会の出場権を得る。但し、オープン種目は除く。